



平成 30 年 6 月 8 日

各 位

会社名 光村印刷株式会社
代表者名 取締役社長 阿部 茂雄
(コード：7916、東証第一部)
お問い合わせ先 取締役常務執行役員 嶋山 芳夫
(TEL 03 -3492 -1182)

(訂正)「平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、本日公表の「過年度に平成 30 年 2 月 6 日に開示いたしました「平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、別途、本日(平成 30 年 6 月 8 日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正並びに過年度の特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上



平成 30 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 30 年 2 月 6 日

上場会社名 光村印刷株式会社
 コード番号 7916 URL <http://www.mitsumura.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)阿部 茂雄

問合せ先責任者(役職名)取締役経理本部長 (氏名)嶋山 芳夫

TEL03-3492-1181

四半期報告書提出予定日 平成 30 年 2 月 14 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期 第 3 四半期	12,603	△5.1	255	△47.6	293	△44.7	64	△77.7
29 年 3 月期 第 3 四半期	13,278	△0.4	487	102.4	530	102.6	289	92.0

(注)包括利益 30 年 3 月期 第 3 四半期 253 百万円 (△70.4%) 29 年 3 月期 第 3 四半期 856 百万円 (2,696.7%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 3 月期 第 3 四半期	20.65	—
29 年 3 月期 第 3 四半期	92.08	—

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30 年 3 月期 第 3 四半期	26,948	17,530	64.5	5,559.17
29 年 3 月期	27,229	17,436	63.5	5,528.67

(参考)自己資本 30 年 3 月期 第 3 四半期 17,376 百万円 29 年 3 月期 17,281 百万円

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり純資産を算定しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30 年 3 月期	—	0.00	—		
30 年 3 月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成 29 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しています。平成 30 年 3 月期(予想)の 1 株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,540	△4.8	450	△24.7	490	△24.1	300	△8.5	95.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 :無

(注)平成 30 年 3 月期の通期の連結業績予想における 1 株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しています。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積り変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	3,163,420 株	29年3月期	3,163,420 株
② 期末自己株式数	37,722 株	29年3月期	37,621 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3,125,734 株	29年3月期3Q	3,145,884 株

(注) 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成29年6月29日開催の定時株主総会において株式併合について承認可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。あわせて同日付けで単元株式の変更(1,000株から100株への変更)を実施しています。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

(1) 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5.00円、年間配当金合計 5.00円

(2) 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 9.60円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、近隣諸国における地政学的リスクはあるものの、個人消費や設備投資の持ち直しの動きなどが進んでおり、緩やかな景気回復が続いています。

当社はこのような情勢のもと、営業部門を改編し、コンパクトな組織を編成することにより得意先に向けたサービス体制の強化を図り活動しています。また、生産部門は、グループ内の商業輪転印刷部門の生産工場の集約や製本加工部門の設備の再配置並びに帳票印刷物の生産工程の抜本的な見直しにより、生産性向上及びコスト削減に向けた取組みを強化しています。生産設備面では、ラベル用生産設備の拡充を行うとともに、前期に引き続き品質を一層向上させるための検査の機械化を進めています。電子部品製造事業においては、画面の大型化に対応して表示品位の向上とコスト削減を行うため、I T Oに代わる新素材を使用したメッシュパターン^①の量産開発を行っており、本年秋の量産開始を予定しています。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の売上高は126億3百万円（前年同期比5.1%減）となり、損益面では営業利益2億55百万円（前年同期比47.6%減）、経常利益2億93百万円（前年同期比44.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円（前年同期比77.7%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと次のとおりです。

① 印刷事業

新聞関連やカレンダーなどの宣伝用印刷物の売上減少等があり、売上高は113億32百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント利益（営業利益）1億41百万円（前年同期比64.8%減）となりました。

② 電子部品製造事業

車載用静電容量タッチパネル製品については得意先の在庫調整により微増にとどまっていますが、移動通信体市場の成長に伴う水晶振動子関連の治具の売上増加があり、売上高は10億42百万円（前年同期比12.5%増）、セグメント損失（営業損失）1億22百万円（前年同期は1億62百万円の損失）となりました。

③ 不動産賃貸等事業

売上高は3億20百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）2億36百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億80百万円減少の269億48百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億74百万円減少の94億17百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加の175億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月2日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,793,969	2,293,618
受取手形及び売掛金	3,025,305	3,260,373
製品	306,615	301,291
仕掛品	420,588	382,726
原材料及び貯蔵品	110,637	119,541
その他	229,911	286,772
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	6,885,028	6,642,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,857,895	6,599,297
機械装置及び運搬具(純額)	2,562,591	2,669,372
土地	2,957,808	2,957,808
リース資産(純額)	1,557,037	1,604,413
その他(純額)	276,834	105,914
有形固定資産合計	14,212,167	13,936,806
無形固定資産	125,261	107,920
投資その他の資産		
投資有価証券	5,305,056	5,537,519
退職給付に係る資産	427,825	451,720
その他	379,374	375,930
貸倒引当金	△105,614	△103,876
投資その他の資産合計	6,006,643	6,261,295
固定資産合計	20,344,073	20,306,022
資産合計	27,229,101	26,948,346

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889,369	1,876,860
短期借入金	1,560,000	1,560,000
1年内返済予定の長期借入金	314,000	314,000
リース債務	335,517	360,822
未払法人税等	97,044	34,195
賞与引当金	169,374	35,796
その他	1,005,671	962,521
流動負債合計	5,370,976	5,144,197
固定負債		
長期借入金	1,099,000	863,500
リース債務	1,375,665	1,398,194
役員退職慰労引当金	25,295	12,572
退職給付に係る負債	1,350,781	1,355,278
その他	570,491	643,928
固定負債合計	4,421,233	4,273,472
負債合計	9,792,210	9,417,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,607,886	5,607,886
資本剰余金	4,449,556	4,449,556
利益剰余金	5,815,386	5,723,646
自己株式	△117,237	△117,491
株主資本合計	15,755,592	15,663,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660,944	1,815,497
退職給付に係る調整累計額	△135,034	△102,795
その他の包括利益累計額合計	1,525,910	1,712,702
非支配株主持分	155,388	154,376
純資産合計	17,436,891	17,530,676
負債純資産合計	27,229,101	26,948,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,278,069	12,603,138
売上原価	<u>10,694,551</u>	<u>10,166,047</u>
売上総利益	<u>2,583,518</u>	<u>2,437,090</u>
販売費及び一般管理費	<u>2,095,536</u>	<u>2,181,373</u>
営業利益	<u>487,981</u>	<u>255,716</u>
営業外収益		
受取利息	485	103
受取配当金	79,079	83,929
受取家賃	10,071	9,827
その他	40,463	25,947
営業外収益合計	<u>130,100</u>	<u>119,807</u>
営業外費用		
支払利息	62,843	57,367
その他	25,100	25,105
営業外費用合計	<u>87,944</u>	<u>82,472</u>
経常利益	<u>530,137</u>	<u>293,051</u>
特別利益		
固定資産売却益	13,468	—
特別利益合計	<u>13,468</u>	<u>—</u>
特別損失		
固定資産売却損	—	4,384
固定資産除却損	67,502	71,755
減損損失	—	95,843
特別退職金	15,905	—
特別損失合計	<u>83,408</u>	<u>171,983</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>460,197</u>	<u>121,068</u>
法人税、住民税及び事業税	70,120	32,590
法人税等調整額	<u>87,915</u>	<u>22,140</u>
法人税等合計	<u>158,035</u>	<u>54,730</u>
四半期純利益	<u>302,161</u>	<u>66,337</u>
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,477	1,787
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>289,684</u>	<u>64,549</u>

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	<u>302,161</u>	<u>66,337</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546,359	154,553
退職給付に係る調整額	<u>8,010</u>	<u>32,239</u>
その他の包括利益合計	<u>554,369</u>	<u>186,792</u>
四半期包括利益	<u>856,531</u>	<u>253,130</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>844,054</u>	<u>251,342</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	12,477	1,787

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					四半期連結損益計算書計上額
	印刷	電子部品製造	不動産賃貸等	計	調整額	
売上高						
外部顧客への売上高	12,122,112	926,570	229,386	13,278,069	—	13,278,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	111,361	111,361	△ 111,361	—
計	12,122,112	926,570	340,748	13,389,430	△ 111,361	13,278,069
セグメント利益又は損失(△)	<u>401,753</u>	<u>△ 162,415</u>	248,642	<u>487,981</u>	—	<u>487,981</u>

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					四半期連結損益計算書計上額
	印刷	電子部品製造	不動産賃貸等	計	調整額	
売上高						
外部顧客への売上高	11,332,711	1,042,304	228,123	12,603,138	—	12,603,138
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	92,194	92,194	△ 92,194	—
計	11,332,711	1,042,304	320,318	12,695,333	△ 92,194	12,603,138
セグメント利益又は損失(△)	<u>141,546</u>	<u>△ 122,091</u>	236,261	<u>255,716</u>	—	<u>255,716</u>

(注) 当第3四半期連結会計期間において、「印刷」セグメントにおいて減損損失を計上しています。